

1 研究主題

「自ら考え、学び、共に高め合う、コミュニケーション力をもつ子の育成」
～協働的な学びの充実を図る授業づくりを通して～

2 研究の視点

- ①協働的な学びを促進する授業づくり
- ②協働的な学びを促進する教師の関わり方

3 主題設定の理由

教育的背景から

文部科学省の「令和の日本型学校教育」では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が強調されており、知識を得るだけでなく、他者との対話や協力を通じて学ぶ力が求められている（[文部科学省, 令和の日本型学校教育](#)）。また、新学習指導要領では、子どもたちが主体的に学び、互いに考えを深め合う場面を積極的に取り入れることの重要性が示されている。

研修の具体例

「協働的な学び」を充実させるためには、対話を促進する授業デザインや学習環境の工夫が重要である。例えば、グループ活動の導入や ICT を活用した共同編集、机の配置の工夫などにより、子どもたちが自然と対話し、協力し合う環境を整えることができる。また、教師はファシリテーターとしての役割を担い、子どもたちの対話を支援することで、より深い学びにつなげることができる。さらに、話し合いのスキルを指導し、意見の尊重や役割分担の意識を高めることで、協働的な学びをより効果的に進めることが可能になる。

昨年度の反省から

昨年度、教員同士・教員と児童の間の研修に関する共通理解の不足が反省にあがった。また、教員・児童両方を対象に行ったアンケートでは、両者の回答に大きな差が見られた。そこで、今年度は教員同士、そして教員と児童が主題の共通理解を深めることも重視する。教師が「協働的な学び」や「コミュニケーション力の育成」について共通認識をもつことで、授業づくりや指導の方向性が統一され、子どもたちの学びがより効果的になる。同時に、子どもたち自身にも学びの目的や意義を共有し、「なぜ協働的に学ぶのか」「どのような力を育てるのか」を理解させることで、より主体的に学ぶ姿勢が育まれると考える。

「協働的な学び」を充実させることで、子どもたちは自ら課題を見つけ、考え、学ぶ力を養うだけでなく、他者と共に学ぶ姿勢や、適切なコミュニケーションを通じて相互理解を深める力も育まれる。このような学びの中で、子どもたちは意見の違いを尊重し、協力しながらよりよい解決策を模索する経験を積むことができるのではないか。これらの力を育成するための指導方法や学習環境の在り方について学び、実践に生かすことを目的とし、研修を進めていきたい。教員同士、教員と児童が共通理解をもちながら、協働的な学びを基盤とすることで、主題のような児童を育むことができる教育を実現していきたい。

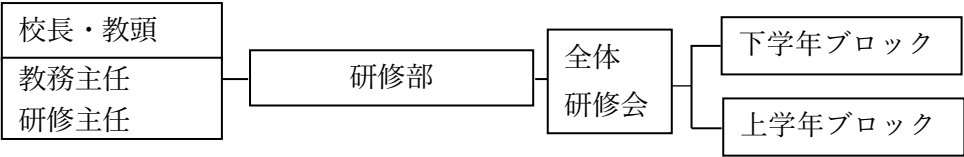
4 研修の内容

- ①児童の学力向上のための日常的な取組
 - ・研究の視点に沿った授業づくり
 - ・学習 10 か条の徹底
 - ・家庭学習の手引きの配布と家庭学習強化週間の実施
 - ・やまぐち学習支援プログラムやタブレット（ドリルパーク）の活用
 - ・読書活動の充実
- ②授業研究
 - ・1人1授業の実施による教師相互評価を通じた授業改善
 - ・各ブロック1回の公開授業・研究協議
- ③校内研修
 - ・模擬授業やワークショップを通じた実践的な学び
 - ・講師を招聘しての講話
- ④地域・家庭と一体となった取組
 - ・いこいの日（毎月15日のノーメディアデーに、親子読書を推進）
 - ・学校運営協議会委員の校内研修への参加
 - ・生活科・総合的な学習の時間での地域学習の充実

5 検証の方法

- ①児童アンケート
- ②教員アンケート

6 研究組織



下学年ブロック			上学年ブロック		
1 年部	2 年部	3 年部	4 年部	5 年部	6 年部
土江	中村晶	荒木	徳原	久保田	吉村
加瀬	上原	植中	河本	相原	橋口
馬場	村元	高見	末次	高橋	岡本
福本	濱本（森本）	市林	藤上	高塚	安藤
善本	吉浦	三村	押川	片山	中村香
	野田上	江上	吉永	原田	町田

7 研修計画

日にち	曜日	内容	その他 研修に関すること
4/23	水	校内研修① 令和 6 年度校内研修の方向性の提案・決定 ワークショップ型研修 (テーマ：研修主題の下で育てたい子どもの姿)	4/18 (木) 全国学力・学習状況調査 (6 年) 山口県確認問題 (5 年) 4/19 (金) 全国児童生徒質問調査
5/27	火	校内研修② 講師招聘・講話 (テーマ：(仮) 協働的な学びの理論と具体)	確認問題結果アップロード締め切り 5/9 (金) 学力向上プラン① 公開授業・道徳研修会 授業者・日程の決定
6/18	水	校内研修③ ワークショップ型研修 (テーマ：(仮) 教師の働きかけの方法について) 全学調・確認問題 誤答分析	児童アンケート① 6/ ～家庭学習強化週間
7/23	水	校内研修④ 夏期休業中研修① 特別支援研修後・個別面談予定 人権教育など	
7/24	木	校内研修⑤ 夏期休業中研修② アレルギー研修 特別支援研修 (別日) 等	
8/22	木	校内研修⑥ 夏季休業中研修③ 全学調・確認問題誤答分析 公開授業のための指導案検討 教育課程復伝など	8/1 (金) 教育課程研究協議会 8/7 (木) 小中合同研修会 1 人 1 授業の計画 (8 月末までに)
9/12	金	校内研修⑦ 道徳研修会	
10/8	水	校内研修⑧ (公開授業 2) 低学年ブロック	CBT 丸つけ、誤答分析、共有 10/10 (金) 6 年 CBT 10/15 (水) 5 年 CBT
11/19	水	校内研修⑨ (公開授業 3) 高学年ブロック	11/ ～家庭学習強化週間 児童アンケート② 学力向上プラン②
1/14	水	校内研修⑩	やまぐちっこプリント DASH の実施
2/12	水	校内研修⑪ 来年度に向けて今年度の成果と振り返り	作戦シート提出 児童アンケート③ 学力向上プラン③ 2/ ～家庭学習強化週間
3 月			学力向上プラン提出

0 昨年度までの研修

1 研究主題

2 研究の視点

①授業づくり

②教師の関わり方

3 育てたい子どもの姿

4 年間計画

5 研修内容